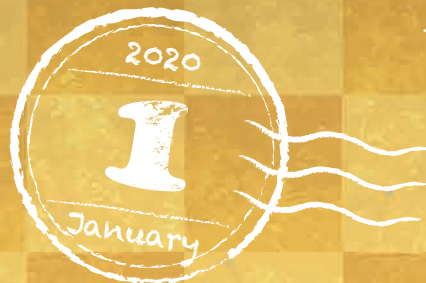


グリーン いしかわ



Green Ishikawa No.136

f 全農いしかわ公式
Facebookページ

全農いしかわの公式Facebookページ
「石川うまれがだいすきさ」

県産農畜産物やＪＡ加工品、イベント
情報などを掲載中！ぜひご覧ください！

URL : www.facebook.com/ishikawaumare.daisukisa



謹賀新年



Green Ishikawa Contents

▶News&Topics

- 新年のご挨拶
- のとてまり初出荷&初競り
- 山崎理事長 講話
- 農事組合法人 One 講話会
- デビュー3年目！
石川県オリジナル新品種「ひゃくまん穀」
- 令和元年度 TAC・JA 施肥防除合理化モニター
協議会 研修会
- 令和元年度 県本部・グループ会社合同研修会
- A ガイヤにおける JA 農産物・加工品等販促イベント
- A コープでの販促イベント
- A コープからのご案内

▶お知らせほか

- のとそだちミルクジェラート
- Beishin おこめキッチン
- JA ホーム
- 2020 年農林業センサスにご協力ください
- パワーのみなもと、石川のお米。

新年のご挨拶

J A全農いしかわ
運営委員会会長 西 沢 耕 一



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

令和2年の年頭にあたり、本県農業とJAグループの一層の発展を祈念し、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、全国各地で台風や豪雨等の大規模な自然災害が頻発し、尊い人命が失われ、農地や農業用施設、農産物に甚大な被害が発生しました。

改めて被害に遭われた皆様に哀悼の意を表しますとともに、心よりお見舞いを申し上げます。

農業をとりまく情勢は、TPP11協定、日EU・EPAの発効、日米貿易交渉等、貿易の自由化が一層進み、国内農業への大きな影響が懸念されます。

また、高齢化・担い手不足による生産基盤の縮小が一層深刻となっており、消費者の低価格志向や安価な輸入農畜産物の増加などによる販売価格の低迷基調など、農家経営は依然厳しい状況が続いております。

本会では、29年度から「『農林水産業・地域の活力創造プラン』に係る全農の対応」として自己改革に着手し、JAグループ自己改革の牽引役となるよう率先して取り組んでいます。

引き続き、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化に向け、全力をあげてこの取り組みを実践していきます。

石川県本部においても、今次3か年計画で取り組んでいるJAグループ自己改革の「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けた取り組みを深化・拡充し、本県農業の生産基盤強化と農家所得の向上、地域農業を支える担い手の確保・育成への支援などを、JAと一体となってより一層積極的に取り組みます。

各事業においては、関連会社と連携し、会員JA・組合員の皆様から求められている組織の機能を最大限発揮して、JAグループとして農業者が安心して持続的に農業経営が続けられるよう尽力してまいります。

最後になりますが、会員JAの皆様には、旧年に倍するご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



新年のご挨拶

J A全農いしかわ

県本部長 末 政 満



新年 明けましておめでとうございます。

令和2年の年始にあたり、昨年中に皆様から賜りました、ご支援、ご協力に厚く御礼申し上げますとともに、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、夏以降、多くの気象災害が発生し、県産農産物への影響が非常に心配されましたが、各品目とも無事に出荷できたことは、生産者の皆様を始め関係各位の徹底した栽培管理の賜物と、心より感謝申し上げます。

なかでも、お米の登熟・収穫時期に長雨が続き収量不足が懸念されましたが、販売3年目を迎えた「ひゃくまん穀」も上々の仕上がりとなり、県内各地で数多くのイベントを開催し、実需者・消費者への認知度も向上し高評価をいただいています。

スポーツ界では、42年ぶりの女子ゴルフメジャー制覇に始まりラグビー日本代表の活躍など明るい話題が多数ありましたが、農業を取り巻く情勢については、終息が見えない豚コレラの発生、異常気象に伴う農地被害の拡大、慢性的な後継者不足や日米貿易協定など、日本農業においては厳しい状況が続くことが予想されます。

このような中、本会では、自己改革への取り組みを加速化するとともに、5年後、10年後を見据えた目指すべき方向に向けて、「農業生産の拡大」、「販売力の強化と県内産農畜産物の消費拡大」、「トータルコストの低減」、「J A事業への支援拡充」、「事業シェアの拡大」の5項目を重点実施策と位置づけ、それぞれの部署がスピード感をもって取り組み、生産者・J Aから頼られる組織となるべく、総力を結集し事業を遂行してまいります。

本年が、皆様にとって良き年になるようご祈念申し上げますとともに、一層のご協力とご鞭撻をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



園芸課

のとてまり初出荷&初競り

12月19日(木)、全農石川県本部穴水事務所において、「のとてまり」の初出荷が行われました。

今シーズンは夏から秋にかけて、降雨が少なく気温が高い日が続き、順調に椎茸が発生するか心配されましたが、生産者の徹底した管理と努力により、立派な椎茸になりました。検査員により、「のと115」814玉のうち147玉が「のとてまり」、さらに昨年より2玉多い14玉が「のとてまりプレミアム」に格付けされました。



挨拶する樋下会長

翌20日(金)には、金沢市中央卸売市場において、「のとてまり」の初競りが行われました。

初競りの前には生産者や関係者が一同に会し、初競りセレモニーが行われ、奥能登原木しいたけ活性化協議会の樋下会長より、「形・大きさ・肉厚・巻き込みともに素晴らしい仕上がりとなった」と挨拶がありました。

その後の初競りでは、出荷された「のとてまり」22ケースのうち、「のとてまりプレミアム」6玉入

り1ケースに過去最高となる25万円の値がつけられました。

奥能登原木しいたけ活性化協議会では、今年度の「のとてまり」の出荷目標を38,000玉としており、3月末までの出荷を予定しています。



過去最高値25万円で競り落とされた「のとてまり」プレミアム



最高値の「のとてまりプレミアム」を購入したら一めん世界の皆様

のとてまり

奥能登地域(2市2町)で生産され、傘の直径が8cm以上、肉厚が3cm以上、傘の巻き込みが1cm以上と厳しい格付け基準をクリアしたものに与えられるブランド称号。その中でも特に優れたものが「のとてまりプレミアム」に認定されます。

総務課

山崎理事長 講話

11月29日(金)、J A全農山崎周二代表理事理事長が石川県本部に来訪され、県本部・グループ会社合わせて約130名参加のもと、講話いただきました。

講話では山崎理事長から、「全農リポート2019」に基づいて、本会を取り巻く事業環境の変化や、5年後、10年後を見据えた本会が目指す方向についての解説があり、「現状の維持も大切ではあるが、時代の変化が激しい現代においては新しい挑戦も必要」とお話しされました。

今回の講話は、全農全体の事業計画、J Aグループを取り巻く環境について確認する良い機会となりました。今後もグループ全体で協同して、スケールメリットを生かした事業展開を行えるよう取り組んでいきます。



講話する山崎理事長

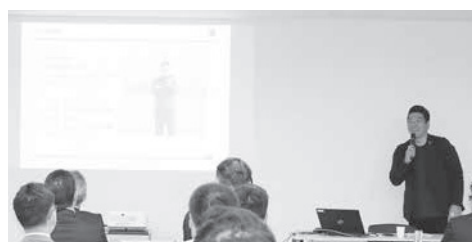
総務課

農事組合法人 One 講話会

11月25日(月)、農事組合法人One副代表理事の宮野義隆さんを講師にお迎えし、県本部職員等約60名参加のもと、講話会を開催しました。第二回目となる今回は、先進的な農業経営を行う生産者の取り組みを知ること、全農職員としてこれからの農業にどのように関わっていくか、何を求められているのかを考えるきっかけとなるよう企画しました。

講話では、宮野さんが拠点を置く才田町での農業の話や、会社を設立してからの農業経営の課題等をお話しいただきました。宮野さんは、地域農業は「自力」では厳しく、「他力」も活用することで発展できると考えられており、本会としても石川県の農業を持続可能な農業にするために、生産者、J A等関係団体はもちろんのこと、他産業との関わりも強くしていくことが大切であるということを改めて実感する、大変学びのある講話会となりました。

本会では、今後も様々な講話会や研修会を開催し、職員の意識、能力の向上に努めていきます。



講話会のようす

デビュー3年目!石川県オリジナル新品種「ひやくまん穀」

JR金沢駅で県内外のお客様に「ひやくまん穀」PR

石川県内外のお客様への「ひやくまん穀」PRを目的に、11月21日(木)JR金沢駅でデビュー3年目となる記念イベントを行いました。



ひやくまん穀の新品

イベントでは、ひやくまん穀おにぎりを合計320個配布し、あわせて新発売のひやくまん穀パックごはんや、ひやくまん穀と県産大麦ファイバースノウを使用したお茶「石川めぐ美茶」、ひやくまん穀おにぎり8種類の販売を行いました。

デビュー3年目を迎えた「ひやくまん穀」ですが、注目度は依然として高く、県内外や海外からのお客様にもその美味しさを味わってもらうことができました。



おにぎり無料配布

「ひやくまん穀」おにぎり教室@青竜幼稚園

子どもたちに「ひやくまん穀」の美味しさと手作りの楽しさを知ってもらおうと、11月27日(水)、金沢市の青竜幼稚園で「ひやくまん穀」おにぎり教室を開催しました。

はじめに(株)米心石川より、「ひやくまん穀」の紹介や石川のお米の話をし、ライスケと記念撮影を行った後、おにぎり教室が始まりました。園児たちは、「ひやくまん穀」のごはんにシャケや昆布などの具材を入れ、



後日園児たちが、
ライスグッズを手作り
してくれました!!

三角や丸形等好みの形ににぎったあと、のりを巻き、満足そうに「ひやくまん穀」のおにぎりをほおぼっていました。



手作りおにぎりをほおぼる園児たち

参加した園児たちからは笑顔いっぱいの「美味しい!」の声や「簡単だからお家でも作る!」といった声が聞かれました。

今後も「ひやくまん穀」で多くの人が笑顔になれる取り組みを行っていきます。

「ひやくまん穀ひやくにぎりチャレンジ」@北陸学院大学

「ひやくまん穀」と北陸学院大学短期大学部 食物栄養学科の合同企画「ひやくまん穀 100(ひやく)にぎりチャレンジ」が12月9日(月)、同学科の調理実習室で行われました。

この企画は、郷土料理など様々な調理方法について学ぶ調理学実習の授業の一環として、学生が石川県産米「ひやくまん穀」を使用して100個のレシピを開発するものです。当日は約60名の学生が参加し、それぞれが考えたレシピでおにぎりを調理、事前に行われた1次審査を通過したレシピのプレゼン発表を行い、最優秀・優秀作品に選ばれた4つのレシピを考案したグループには「ひやくまん穀」が贈呈されました。



参加した学生からは、「ひやくまん穀はもちもちりとしていて、おにぎりを作りやすい」や「様々な食材に合うのでアレンジが楽しかった」という声が聞かれました。

今回考案されたレシピは、リーフレットやひやくまん穀ホームページで展開予定です。





TAC 営農推進課

令和元年度 TAC・JA施肥防除合理化モニター協議会 研修会

12月17日(火)、令和元年度TAC・JA施肥防除合理化モニター協議会の研修会を開催しました。県内各JAの営農指導員やTAC、肥料・農薬メーカー関係者、本会職員の40名が参加しました。

本協議会では、各JAの営農指導員やTACが、管内における施肥防除の課題を抽出し、その課題を解決する目的で肥料農薬等の資材や技術を選定、生産者の協力を得て実証に取り組んできました。

研修会では、各JAの担当者より穂肥増量型一発肥料による省力増収技術の他、雑草や病害虫をより省力に防除できる新剤の実証等の発表が行われ、実証から得られた成果について、情報の共有を行いました。

また、発表後には石川県農林総合研究センターの猪野担当課長より「令和元年産米の生育概況と次年度対策」の講演や、全農県本部TAC営農推進課の折戸係長より「圃場情報管理システムZ-GISの操作方法」について説明、参加者は熱心に聞き入っていました。

協議会では本年度の取組み結果を参考にしながら、次年度に向けて、農業者の課題解決や所得向上、また、JA事業の強化につながる取組みについて進めていきます。



質疑応答のようす

総務課

令和元年度 県本部・グループ会社合同研修会

12月2日(月)、県本部職員、グループ会社社員約120名参加のもと、「令和元年度県本部・グループ会社合同研修会」を開催しました。講師には、元プロ野球選手イチローの専属打撃投手を務めた経験もある、NPO法人ベースボールスピリッツ理事長の奥村幸治さんをお招きし、「プロ野球チームにみる強い組織の創り方」と題してご講演いただきました。

「一流」と呼ばれる選手やチームと交流してきた経験をもとにしたお話は、説得力があり分かりやすく、時にユーモアを交えてのお話に、会場からは笑いが起こる場面もありました。奥村さんは、イチロー選手との交流から、その強さは「プラス思考」が大きく関わっており、それには手に届くような目標設定と、小さな達成感の積み重ねが大切だとお話されました。



奥村幸治さん



講演会のようす

また、日本のプロ野球とメジャーリーグのコーチングについて、前者は「与える」指導であるのに対し、後者は「聞き出す、引き出す」指導であるとその違いを説明されました。

今回の講演では、職員一人一人が自ら考え、目標を掲げ、達成感を味わうこと、また職員が主体性を持つことができる環境を作ることが重要であることを学びました。

本会として今後も様々な研修を開催し、職員の能力・資質・満足度の向上を図り、より一層組織力を強められるよう取り組んでいきます。

こだわりの牛乳
「のとそだち」で
作った、濃厚な
ミルクジェラート



奥能登の6戸の酪農家限定の、安心・安全でおいしい牛乳「のとそだち」を使った、濃厚なオリジナルミルクジェラートです。
石川県産大豆で作ったきなこを100%使用した「黒みつきなこ」が新登場!ぜひご賞味ください。

本体価格
(税抜)

248円

県内Aコープで好評発売中!!



AガイヤにおけるJA農産物・加工品等販促イベント

JA石川かほく

● 11月1日(金) ●

旬の「高松紋平柿」の試食を行いました。

初物の紋平柿を楽しみにしていたお客様も多く、試食した方からは「ほどよい甘さで美味しい」と大好評でした。



JA金沢市

● 11月8日(金) ●



旬の「五郎島金時」の焼き芋と、菓子類の試食イベントを行いました。

ほくほくで、ほんのり甘い焼き芋は、お客様に喜ばれ大好評でした。

五郎島金時の菓子類(いしやきいも・ようかん・カステラ)は県外のお客様にも大人気でした。

JA小松市

● 11月11日(月) ●

JA小松市の「秋冬にんじん」の試食を行いました。

甘みがあって色鮮やかな初物のにんじんは好評で、たくさんのお客様に手に取っていただけました。

また、大麦入りにんじんスープは、お客様から大人気でした。



JA能登わかば

● 11月22日(金) ●



JA能登わかばの中島菜加工品「菜飯の素」の試食と「ま菜茶・緑のおくりもの」の試飲を行いました。

試食されたお客様からは「菜飯の素は濃いめの良い味で、ごはんがすすむ」「お茶はすっきりした味わいで飲みやすい」との声をいただきました。

いい肉の日

● 11月29日(金) ●

1129の日ということで、「能登牛」と「能登牛コロケ」の試食販売を行いました。

能登牛のとろけるような柔らかい食感は、お客様にたいへん喜ばれました。

また、本会オリジナルの「肉匠Jade金澤オリジナルの焼肉のたれ」もまろやかな甘みで美味しく、お肉がたくさん食べたと大盛況でした。



JAおおぞら

● 12月6日(金) ●



JAおおぞらの「山菜塩蔵」の試食販売を行いました。

能登の里山で春に収穫された山菜をじっくりと塩漬けた商品です。山菜はしゃきしゃきした歯ごたえが特徴で、年配の方を中心に大好評でした。

JA能美

● 12月13日(金) ●

すりおろした旬の「加賀丸いも」の試食販売を行いました。

試食されたお客様から「強い粘りで、もちりとした食感が楽しめて美味しい」との声をたくさんいただきました。



JA石川かほく

● 12月20日(金) ●



JA石川かほくの「いけなら紫」を使用した加工品の試食販売を行いました。

きれいな紫色の麺は珍しいと大好評でした。

また、いけなら紫の甘納豆やチョコサンドも県外からのお客様も含めたくさんの方に手に取っていただけました。





Aコープでの販促イベント (ファーマーズAコープ北安田店&Aコープ富奥店)

J A能美

● 12月5日(木) ●

J A能美の「加賀丸いも」の試食を行いました。「加賀丸いも」のもちっとした食感と強い弾力に驚かれる方も多く、「丸いもがとれるのを楽しみにしていた」というお客様もあり、たいへん好評でした。



J Aおおぞら

● 12月12日(木) ●

J Aおおぞらの「山菜塩蔵」の試食を行いました。

能登産の山菜は種類も多く、しゃっきりとした歯ごたえがあり、いろんな料理が楽しめる、たくさんご購入いただけました。



Aコープからのご案内

11月13日(水) Aコープとぎ店が売場面積を200坪から340坪に拡大し、移転新装オープンしました！当店は地域の皆様方のお店として「安全」「安心」「健康」をモットーに、国産農畜産物を中心とした品揃えをはじめ「地産地消運動」「環境保全活動」にも積極的に取り組んで参ります。

地域の皆様方に愛されるお店を目指して参りますので、末永いご愛顧を心よりお願い申し上げます。

- ◆産直 地元生産者直売コーナー拡大！
- ◆青果 鮮度と旬の美味しさを届けます！
- ◆鮮魚 七尾港、西海港よりきときとなお魚を直送！
- ◆惣菜 手づくりを中心に心を込めてお作りします！新鮮生ネタでにぎり寿司展開！



地元生産者直売コーナー



きときと！なお魚売り場



生産者と消費者を安心して結ぶ懸け橋に！！

<営業時間>

9時30分～19時30分

<住所>

羽咋郡志賀町富来領家町甲26-1



Beishinおこめキッチン金沢駅あんと店 おにぎり リニューアル!



この度、Beishinおこめキッチン
あんと店の おにぎりを
リニューアル致しました。
すでにお召し上がり頂いた方も
いらっしゃるのではないのでしょうか。

新しい仲間も登場した
Beishinおこめキッチンの
おにぎりをぜひご賞味下さい!

Beishin
おこめ
キッチン

Beishinおこめキッチン
金沢駅「あんと」店
TEL. 076-208-3119
営業時間 8:30~20:00



「つくる」と「たべる」のあいだに。——
株式会社 米心石川



ダイニングとキッチンのリフォーム

家族の楽しい様子を背後に感じながら、広い台所に一人で食事の準備や後片付けをして30年
余り……。しかし、嫁がれた娘さんの長男誕生をきっかけに「食事の用意をしながらでも孫の様
子を見守り、子育てを応援したい」との思いからダイニングキッチンのリフォームが始まりました。

窓際のL型キッチン、ダイニングと居間を見通せるように部屋のほぼ中央にレイアウトしまし
た。床や壁には断熱材を充填し、既存窓には樹脂窓を取付け2重窓としたことで、冬の暖房や夏の
冷房はこれまで以上の効果が期待できます。

ダイニングとキッチンの
リフォームにあわせてお風
呂も改装しすっかりピカピ
カの水廻りとなりました。
これから娘さんの職場復帰
とともに、安心して預けら
れる環境が整い、奥様はじ
めご家族の皆様にご満足
いただいたリフォームと
なりました。



既存の梁を活かしたダイニング



機能性重視のキッチン

新築・リフォームのご相談はJAホームまで
(株)JA建設エナジー 住宅課
TEL 076-240-5441 HP <http://www.jahome.jp/>

<お知らせ>

2020年農林業センサスにご協力ください

令和2年2月1日現在で、全国一斉に“農林業の国勢調査”といわれる「2020年農林業センサス」
が実施されます。

この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される極めて大切な調査です。

令和元年12月中旬から農林業を営んでいる皆様のところへ調査員が訪問して、調査票に農林業
の経営状況などの記入をお願いしますので、ご協力をお願いします。



新年明けましておめでとうございます。

本年も安心・安全な石川米と おいしい笑顔をお届けいたします。



おいしいお米と頼める仲間が
わたしのチカラに!

**金沢商業高等学校
女子バレーボール部**

1月5日から開催される春の高校バレーに18年連続出場。チームスローガン「京魂」のもと、28名の部員が一丸となってプレーする。




おいしいお米で
パワーチャージ!

**大口水産
株式会社**

金沢の食の台所、近江町市場内で最大規模を誇る鮮魚専門店。おもに北陸で水揚げされた魚介や海産物のほか、新鮮なネタを使った寿司なども販売している。



たくさん食べて
たくさん練習!

**遊学館高等学校
バドミントン部
中野稚奈梨さん**

全国優勝6回の強豪バドミントン部を引っ張るキャプテン。昨年12月7日に開催された全国大会で2連覇を達成。




よい仕事は
よい食卓から!

**すし王
金沢駅前 副店長
櫻屋敦吾さん**

人気回転寿司屋で働く寿司職人。丁寧な仕事ぶりで得意からの信頼も厚い。実家が農家で幼い頃からお米好き。



お客様の笑顔のため
今日もがんばるぞ!

**ひら井
いちば 店主
平井慎太郎さん**

職人歴30年、海鮮丼の名店を切り盛りする大得意。カウンター越しにお客さんの笑顔を見るのが至福のひととき。



私たち生産者は、石川の皆様の仕事や勉強、運動、日々の暮らしに必要なパワーとなるようにとの思いを込めて、お米づくりに励んでいます。昨年、春の田植えから、厳しい酷暑を耐え、実りの秋を迎えることができ、たくさんの美味しい笑顔をいただくことができました。今年もよりいっそう美味しく栄養満点、かつ安心・安全なお米をお届けできるよう、丹精込めて、愛情込めて、取り組んでまいります。

パワーのみなもと、石川のお米。

JAグループ石川 JA加賀、JA小松市、JA横上、JA能美、JA白山、JA松任、JAのいち、JA金沢中央、JA金沢市、JA石川はく、JAはく、JA志賀、JA能登わが、JAおそら、JA内浦町、JAすずし、JA石川県中央会、JAパンク石川信達、JA共済石川、JA全農いしかわ



毎月2日は
「おにぎりの日!」

石川米

今年もおにぎりの魅力を
お伝えするために色々計画しています。
お楽しみに!

※12月2日は休んでいます

私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

発行所／全国農業協同組合連合会 石川県本部
管理部 開発広報課
〒920-0383 金沢市古府1丁目220番地
TEL (076) 240-5371 FAX (076) 240-5319
http://www.is.zennoh.or.jp